



**原井市長** 分かりました。それでは続いて山口さんをお願いします。

**山口選手** 山口愛騎です。チーム内で数少ない地の利がある徳島県出身です。

僕も数々のチームを渡り歩いていて、大学を卒業してから、島根の現JFLの松江シティに入団しました。その後、現J3のテゲバジャーロ宮崎で2年、あと東京23FC、バンディオンセ加古川というチームを経て、ご縁があってFC徳島に所属することになりました。徳島出身ということで、最終的には徳島で何か残したいなと思っていました。

30歳手前になったこのタイミングでFC徳島からお声がかかり、よかったですと思っています。今年で2年目になります。

**原井市長** 久しぶりに徳島に帰ってきたわけですね。

**山口選手** そうですね、高校を卒業してから徳島ではずっと住んでなかったんです。一度県外に出られて、地元にならないうちに存在していたというのほどういう風に感じますか。

**山口選手** 県外でプレーしていても、地元チームがなくて活躍しているという話がよく耳にしていたので、どういうチームなのかすごく興味がありました。

**原井市長** 地方では若者が働き場を求めて都会に出ていってしまいますが、サッカーがきっかけで地元に戻ってこれるような土壌となつていければという思いがあります。ですので、これをきっかけに地域に根付いていけるように、本市としてもいろいろ知恵を出して取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、橋本さんお願いします。

**橋本選手** 背番号4番ディフェンダーの橋本真太郎です。出身は鹿児島県の奄美群島の沖永良部島出身です。高校までは地元の島で暮らし、大学は鹿児島県の鹿屋体育大学に入学しました。去年大学を卒業し、広島県の福山シティFCに入団しました。1年経って期限付きでFC徳島に移籍することになりました。

えるだけですごく伸びしろのある選手がたくさんいるので、うまく導いてあげてチームをまとめてあげれば、感動させられるチーム、確実に優勝できるチームになると手応えは感じています。

**原井市長** それは楽しみです。新シーズンも期待しております。それではこれから意気込みを一人一言ずついただけたらなと思います。阿部コーチから順にお願いします。

**阿部コーチ** 徳島県には徳島ヴォルティスという非常に偉大なチームがあるんですけども、FC徳島というチームにもサッカーに人生をかけて戦っている人たちがいるのをぜひとも吉野川市の方々に知ってもらいたい。僕自身コーチとして選手たちがステップアップできるようにしっかりサポートしていきたい。吉野川市にはFC徳島があると市民の方に胸を張って言ってもらえるように頑張っていきたいなと思っています。

**橋本選手** 今シーズンの目標は、まずはリーグ戦を優勝してJFLに昇格することです。結果を出して僕らのサッカーを通して、吉野川市を活性化できたらなと思います。サッカーはもちろんですけど、市のイベントなどでもサッカーと同じ熱量で取り組んで一日でも早く吉野川市のシンボルにチームになれるように頑張っていきたいなと思います。

**原井市長** みなさん、力強いお言葉がありありがとうございます。意気込みの中にありましたが、本気で取り組んでいる姿というのは、見た人に勇気を与えるものだとも思っています。プロの試合とか高校野球とかもそうですけど、人生・学生生活をかけて戦っている姿が本当に感動を生むんだと思います。

吉野川市にも美郷のはたるであつた

まずは吉野川市の方々に、

山口選手

まずは吉野川市の方々に、

した。よろしくお願いします。

**原井市長** 奄美群島の沖永良部島とい

**橋本選手** 奄美大島の南ですね。沖縄と奄美大島の間にあります。

**原井市長** そうなんです。徳島は1年目ということで、徳島のイメージはどうですか？鹿児島よりは暑くはないと思うんですか？

**橋本選手** とても過ごしやすいですね。

**原井市長** ちなみに松本さんと山口さんのポジションは？

**橋本選手** 私はミッドフィールダーです。

**山口選手** 私はフォワードだと思います。

**原井市長** マルチプレーヤーということですね(笑)。

**山口選手** マルチと言っているのか分かりませんが(笑)。

### FC徳島を 吉野川市のシンボルに

**原井市長** 今回協定を結ばせていただいた、本市としてもこれから、チームの運営はもちろんです。地域との関わりの部分で、例えば子どもたちとの交流であったり、まちづくりでのチームとしての関わりであったり、選手の方々に貢献していただければなと思っています。加えて吉野川市内の企業も働き手の確保に現状苦戦しているところもありますので、市としてもそういった労働

力の部分でマッチングしていけたらと考えています。

そこで、FC徳島さんのチームとしての将来の展望も聞かせていただけたらと思います。

**犬塚監督** スポーツを通して市と連携協定を結ぶ意義は「する」「支え合う」「見る」の3つだと思っています。

「する」という部分では、僕たちがイベントに参加する、イベントを開く、巡回指導で幼稚園に出向く。いずれは要望があればチームの選手を派遣して人助けができるころまでいけたらいいなと思います。

「支え合う」という部分では、チームが全国を目指して強くなり、スポンサーの企業さんを全国にPRしてお互いに支え合えるようにしていきたい。

「見る」という部分では、市民の方々に頑張る姿勢を見てもらって、感動を与えたい。日本一になり、日本一のチームが吉野川市にあると知ってもらいたい。

そのためには僕たちがまず実力をつけていくのが吉野川市のシンボルとしてやっていくというのが、将来展望です。

**原井市長** ありがとうございます。

新シーズンの手応えはどういう感じですか？

**犬塚監督** 本日に面白い選手が集まってくれたなと思います。うちに来る選手は、あと一歩のところまでプロになれなかった選手が多いです。少し意識を変

3月29日(月)、市民プラザにおいて、吉野川市と一般社団法人FC徳島スポーツクラブとの地域貢献に関する連携協定締結式が執り行われました。

この協定は、それぞれの有する資源を有効かつ適切に活用し、サッカーを通じた地域スポーツの振興、地域の活性化等に取り組み、地域社会への貢献および相互の発展に寄与することを目的としています。今後は、地域との関わりの中で、子どもたちとの交流や地域イベントのサポート、教育や人材育成にも携わっていただき、共にまちづくりを推進していきます。

### 地域貢献に 関する連携協定 締結式が執り 行われました



FC徳島ホームページ  
二次元コード



協定書を手にする  
犬塚監督(右)と原井市長(左)



サッカーを通じた地域活性化に期待